

「コンパクトシティ蕨」将来ビジョン推進プランⅡ の取組内容と達成状況(令和2年度末現在)

【実施結果】◎…実施済(中)
○…一部実施
△…準備・検討

推進項目・実施項目	令和2年度の取組内容と達成状況等	達成状況
○市民参画・協働にかかる制度の効果的な運用		
協働事業提案制度を活かしたまちづくりの推進	協働事業提案制度への応募件数 【令和2年度】累計48件 ・令和2年度に実施予定(令和元年度採択分)の5事業について、新型コロナウイルス感染防止等の状況を鑑み、令和3年度に延期して実施予定 ・令和2年度中に「新型コロナウイルス感染症対策事業」を指定テーマとして募集を行い、6事業の応募があり、5事業を採択	○
市民参画制度の効果的な運用	【令和2年度】 ・審議会等の開催、パブリックコメントの実施、市民意識調査等を適切に実施 ・例年実施している市長タウンミーティングは、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった。	△
○多様な主体との協働によるまちづくりの推進		
地域力を活かした住み良いまちへの取り組み支援	避難所運営訓練の実施(実施校の割合) 【令和2年度】新型コロナウイルス感染症の影響で中止 ※令和2年度までの実施率は60%(10校中6校で実施済み) 交通安全啓発活動 (スクエア・ストレイト教育技法による交通安全教室) 【令和2年度】第一中学校、第二中学校で実施 (交通安全意識啓蒙キャンペーン) 【令和2年度】20回 防犯ボランティア団体数 【令和2年度】47団体 ※増減なし 健康長寿モデル事業の参加(登録)者数 【令和2年度】506人 埼玉県コハトン健康マイレージの歩数計読み取り機(タブレット)を市内に8か所設置したほか、蕨市民限定抽選会を開催し、市民の健康づくりの定着を図った。	○
協定等に基づく民間事業者等との連携の充実・強化	協定締結数 【令和2年度】5件(平成26年度からの累計は34件) PayPay株式会社と「キャッシュレス推進に関する包括連携協定」、株式会社ルネサンスと「蕨いきいきキッズプロジェクト」の実施に関する協定、京都大学(COI拠点研究推進機構)と株式会社ほっこりのプラスとの連携協力に関する協定、埼玉県LPガス協会川口支部と災害時におけるLPガスの提供等に関する協定、株式会社イトーヨーカ堂と「災害時における物資供給に関する協定」	◎
民間間との連携による施設の整備・事業の運営	認可保育園・留守家庭児童室の整備 【令和2年度】 ・認可保育園については、令和2年4月に「蕨錦町ゆたか保育園」を開設 ・民間留守家庭児童指導室については、令和2年4月に「キッズクラブ塚越」を開設するとともに、事業者の公募を実施(令和3年4月1日に「キッズクラブ北町」を開設) 地域包括支援センターの整備 【令和2年度】 塚越地区の地域包括支援センターについて、公募を行い、事業者を決定(株式会社 やさしい手)した(令和3年4月1日に「第3地域包括支援センター」を開設)	◎
関係機関との連携による空き店舗対策の推進	【令和2年度】 蕨商工会議所と蕨市にぎわいまちづくり連合会が連携し、創業希望者に対して「貸店舗見学ツアー」の実施したほか、空き店舗有効活用事業の認定店舗の拡大など、同制度の活用を促進する体制を整えた結果、同制度を活用して、1件が開業した。 ※令和元年度からの累計2件	△
多文化共生のまちづくりの推進	【令和2年度】 ・多文化共生指針策定に向け、日本人及び外国人に対して市民意識調査や庁内のアンケート調査を実施 ・多文化共生指針策定庁内連絡会及び多文化共生指針策定に係る市民懇談会を開催し、指針策定のための基礎資料の収集及び分析を行った。	○
○地域資源の活用とまちの魅力の発信		
蕨ブランドなどの地域資源の更なる活用・展開	商品開発・蕨ブランド認定品 【令和2年度】 わらびりんごの商品化:累計2件 蕨ブランド認定品:累計10件 ・新たにわらびりんごシャーベットを商品化し、クアッカや市内商店で販売を開始した。また、埼玉県物産観光協会主催の埼玉県新商品アワードにおいて、わらびりんごシャーベットが県内60の特産品の中から、入賞に選ばれた。 ・河鍋暁斎記念美術館については、連携協定に基づき、広報紙・ケーブルテレビ・YouTubeを活用した魅力発信に加え、暁斎の絵入りの酒器を販売(広報紙:毎月連載、ケーブルテレビ:8回放送、YouTube:8本公開、酒器:192個販売)	△
誰もが利用しやすいまちの魅力を発信するホームページの提供	【令和2年度】 リニューアルしたホームページにより、カラーセル表示や特設ページ、動画を活用した情報発信を実施。リニューアル前と比較し、トップページへのアクセス数が前年比2.5倍になるとともに、利用者からのアンケート評価も向上した。	◎

1 協働の更なる推進

○職員力の発揮			
2 職員力・組織力の更なる向上	有用な人材の確保と育成	<p>【令和2年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員の採用については、技術職は令和2年8月30日、保育士は9月20日に試験を実施(受験者確保のため、技術職は独自日程で実施)。事務職(福祉含む)、技術職、保育士、消防職については、二次募集として令和3年1月17日に試験を実施。合わせて、195名の応募があり、130名が受験した。 ・職員の人材育成については、職員研修実施計画を策定し、計画に基づき階層別研修や自治大等の派遣研修など各種研修を実施したが、一部研修については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施の見送りや中止があった。 ・窓口サービスアンケートについては、令和3年1月13日から1月27日まで窓口アンケートを実施し、今後の接遇改善につなげるよう職員に部署別の結果及び個別意見をフィードバックを行った。 ・資格取得支援制度については、令和2年度は1名の職員に助成金を交付した。 	◎
	健康で元気に働く職員・職場づくりの推進	<p>【令和2年度】</p> <p>メンタルヘルス研修(3月)並びにストレスチェック及び医師による面接指導(10月～2月)を実施するとともに、健康情報誌の提供。</p>	◎
	公務員制度の改正に対応した人事管理の見直し	<p>国家公務員の定年を65歳までに段階的に引き上げる国家公務員法等の一部を改正する法律案が廃案になったことから、国・県から地方公務員法の一部を改正する法律などを含めた詳細な情報提供がなされず、具体的な検討に至らなかった。</p> <p>※国家公務員法の一部を改正する法律案については、その後、法案の再提出により、令和3年6月に可決・成立。今後の状況を注視し、対応を検討していく。</p>	△
○時代に即した組織と業務運営			
2 職員力・組織力の更なる向上	効率的・効果的な組織運営と定員管理	<p>組織運営の実施状況</p> <p>【令和2年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織改正では、在住外国人の増加等の社会環境の変化に対応し、多文化共生のまちづくりを更に推進するため、市民生活部市民活動推進室の事務分掌に「多文化共生の推進に関すること。」を追加した。 ・また、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴って急ぎよ生じた大きな事業に対応するために、「特別定額給付金事業プロジェクト・チーム」や「新型コロナウイルスワクチン接種事業プロジェクト・チーム」を設置し、迅速な対応を図った。 <p>定員管理の実施状況</p> <p>【令和2年度】</p> <p>定員管理の方針については、令和2年度に令和5年度までの定員管理の方針を定め、方針に基づく定員管理を実施している。</p>	◎
	職員提案制度の活用	<p>【令和2年度】</p> <p>10月に職員提案等推進月間を実施し、2月に受賞者を決定(例年行っている表彰式は、新型コロナウイルス感染防止のため未実施)</p> <p>※職員提案数:4件、業務改善報告数:3件、成果功績報告数:1件</p>	○
	窓口機能等の利便性の向上	<p>市役所新庁舎の整備</p> <p>【令和2年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月に誰もが利用しやすい庁舎に向けたユニバーサルデザイン計画なども考慮した「新庁舎建設基本設計」を策定し、3年2月に「新庁舎建設実施設計概要」を策定。併せて、10月までに仮設庁舎等への移転を行い、12月に旧庁舎の解体工事に着手するなど、着実に新庁舎建設事業を進めた。 ・また、窓口案内表示システム等の導入について、関係各課と協議を重ね、利便性向上のためシステム業者にヒアリングを実施 <p>駅前行政センターの整備</p> <p>【令和2年度】</p> <p>行政センターについて他自治体事例の調査・研究を実施</p>	△
	AI・RPA等のICT活用による業務効率化	<p>【令和2年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年11月に、藤市、京都大学(COI拠点研究推進機構)、株式会社ほっこりーのプラスの3者による協定を締結し、子育てAIとオンライン相談を活用した産後うつ予防等の実証実験の開始に向けて連携を図った(令和3年5月26日に「無人子育て相談室」を福祉・児童センター内に開設) ・この他、AI・RPA等のICT技術及び先進・他自治体事例について調査・研究を実施 	△

○財源の確保			
3 自律した 行政 財政 運営	市税等の収納率の更なる向上	市税収納率(現年+滞納繰越) 【令和2年度】 96.3%(現年+滞納繰越分) ・口座振替促進のため「ページー口座振替受付サービス」の受付窓口を納税推進室1か所から、税務課・医療保険課の2か所を増設し、計3か所とした。 ・現年課税分を中心に、年6回の一斉催告書を送付し、そのうち4回は「納付書付催告書」とすることで自主納付を促した。 ・「納税コールセンター」を設置し、延べ約35,000人に架電し広く早期自主納付を促した。	○
	圏定住促進による税収の安定的確保	新たな総合戦略の推進 【令和2年度】 令和2年4月から計画期間とする「改定 蕨市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の計画初年度として、計画に位置付けた各取組を実施 駅西口再開発の推進 【令和2年度】 ・蕨駅西口地区市街地再開発組合が設立 ・事業の施行主体である再開発組合が行う権利者の合意形成等、事業推進に資する組合の種々の活動に対して、必要な支援及び十分な協議を実施	○
	圏国民健康保険税の見直し	【令和2年度】 国民健康保険税の見直しに対応するため、蕨市国民健康保険運営協議会からの保険税の段階的な引き上げなどといった答申に基づき、保険税率改定に係る条例の改正を行った。	○
	圏その他財源の確保	【令和2年度】 地域再生計画の認定に伴い、令和2年11月から企業版ふるさと納税(地方創生応援税制)の受け付けを開始 ※令和2年度の寄附実績:2件・450,000円	◎
○効率的・効果的な事務事業			
	新たな民間活力の導入と民間委託等の更なる推進	【令和2年度】 ・駅西口公共施設については、蕨駅西口地区市街地再開発事業における方針として、「図書館」及び「行政センター」の複合施設を整備することが平成30年11月に決定したことを踏まえ、運営形態の検討を進める中で、市内の公共施設において既に指定管理者制度での運営実績のある団体やシステムベンダー等に対してヒアリングを実施し、情報収集を行った。 ・子育て支援センター事業について、令和2年12月21日に「ほっこりーの蕨」(委託先:株式会社ほっこりーのプラス)を新規開設。コロナ禍に対応したオンライン事業(メール相談、各種オンライン相談等)、ワークショップ等を実施した。	△
	行政評価制度の適正な運用	【令和2年度】 平成21～24年度、平成27～30年度に実施した4か年を1サイクルとする行政評価について、検証・改善を加えたうえで、新たに令和2年度から4年間を1サイクルとする行政評価を実施 ※対象事業:16事業(令和2年度)	◎
	圏その他事務事業等の見直し	【令和2年度】 (通話録音機能付電話機設置費補助金) 高齢者の振り込み詐欺被害防止のために実施してきた通話録音装置の無償貸与事業を、より防犯機能が充実した通話録音機能を有する電話機の購入費補助事業への組み替えを検討(令和3年度より補助実施) (ひとり親世帯民間賃貸住宅家賃助成金) 3人以上世帯への助成対象の家賃上限の引き上げを検討(令和3年度より引き上げを実施し、支給対象世帯を拡大)	◎
○将来に負担を先送りしない財政運営			
	土地開発公社経営健全化の計画的な推進	【令和2年度】 「経営健全化計画(H25～H33)」に基づき、簿価の縮減に努めており、令和2年度は以下の買戻し(3件)を実施した。 ・「蕨駅西口第1駐車場」の一部(地積162.94㎡、簿価130,536,448円) ・「中央3丁目ちびっこ広場No.65」の一部(地積117.60㎡、簿価90,002,220円) ・「錦町5丁目区画整理事業等用地」の一部(地積88㎡、簿価35,788,456円) ※令和2年度末現在、「債務保証対象土地簿価総額/H23標準財政規模」は0.19	○

実施結果(令和2年度末時点)	達成状況	項目数
実施済(中)	◎	9
一部実施	○	8
準備検討中	△	7
合計		24
達成度	◎・○	70.8%